

大気科学の将来展望と若手研究者問題に関する第2回検討会



東京海上研究所・ 東京海上日動の現状に関するご紹介

2010年5月25日(火) 17:30～20:00

主席研究員
嶋田 浩生

東京海上研究所
THE TOKIO MARINE
RESEARCH INSTITUTE
<http://www.tmresearch.co.jp/>



本日お伝えしたいこと

1. 東京海上研究所・東京海上日動について
2. 東京海上グループの大気科学関連研究の取り組み
3. 東京海上研究所・東京海上日動の採用について
4. 大気科学の若手研究者の方へ

1. 東京海上研究所・東京海上日動について

東京海上日動は、お客様の信頼をあらゆる事業活動の原点におき、「**安心と安全**」の提供を通じて、豊かで快適な社会生活と経済の発展に貢献します。

- ・名 称 : 東京海上日動火災保険株式会社
- ・所在地 : 東京都千代田区丸の内1-2-1
- ・資本金 : 1019億円
- ・創 業 : 1879年8月
- ・代表者 : 取締役社長 隅 修三
- ・事業概要 : 損害保険業 ①保険の引受（火災保険・海上保険・傷害保険・自動車保険・自賠責保険・その他保険 以上各種保険の再保険）
②資産の運用
- ・正味収入保険料 : 1兆8,134億円（2008年度）
- ・総資産 : 8兆4,134億円
- ・従業員数 : 15,747人
- ・営業拠点 : 国内125営業部・支店、504営業室・課・支社
- ・損害サービス拠点 : 245カ所（国内）
- ・代理店数 : 50,520店（国内）



1. 東京海上研究所・東京海上日動について

東京海上研究所は、保険を中心事業とする
東京海上グループのシンクタンクです。

- ・名 称：株式会社 東京海上研究所
- ・所在地：東京都千代田区丸の内1-2-1 東京海上日動ビル新館9F
- ・資本金：3億円
- ・設 立：1992年4月
- ・役 員：取締役社長 隅 修三、常務取締役 三吉 輝正 等
- ・事業概要：
保険にかかる制度、事業等に関する調査・研究
国内外の経済、金融、政治、社会、産業、企業、科学技術等に関する調査・研究
前各項にかかる各種講演会・セミナーの開催および各種図書・刊行物の出版
上記に関連する業務

研究への取組み

東京海上研究所について

セミナー・フォーラム情報



研究への取組み

現在の研究テーマ

▶ 地球温暖化

東京海上研究所では、地球温暖化がもたらす自然災害リスクの研究を中心に、影響、適応および脆弱性、気候変動の緩和策、健康リスクなどに関する幅広い調査・研究を行っています。

▶ 未来社会

東京海上日動グループがお客様によりよい保険商品・サービスを提供できるよう、将来起こりえるであろう様々なリスクを予測・想定し、研究活動を行っています。

▶ 刊行物・書籍ご紹介

東京海上研究所について

▶ トップメッセージ

▶ ミッション・アプローチ

セミナー・フォーラム情報

▶ セミナー

2. 東京海上グループの大気科学関連研究の取り組み

リスク研究

保険商品・サービス

- ・地球温暖化防止(抑止)につながる保険／金融商品・サービスの提供
- ・地球温暖化リスクに対応する商品・サービスの開発
- ・環境対策車割引による環境対策の支援
- ・自動車修理時の環境配慮
地球温暖化に伴うリスクの顕在化に

産学連携による地球温暖化のリスク研究

- ・社外学術機関(東京大学、名古屋大学)との連携による台風リスク研究
- ・台風・ハリケーンなどの損害動向予測

環境負荷削減

- ・社の事業活動に伴う環境負荷の減
温室効果ガスの削減・吸収)
- ・事業者のISO14001認証/運用な
ぎに、環境マネジメントシステムの導入
による環境負荷の抑止
- ・マングローブ植林事業を通じた環境
負荷の抑止、削減



2007年11月 プレスリリース

2. 東京海上グループの大気科学関連研究の取り組み

東京海上グループは、東京大学との共同研究に取り組んでいます。

東京大学 大気海洋研究所 気候システム研究系



共同研究実施企業
日本電信電話(株)
(株)三菱総合研究所
(株)東京海上研究所

共同研究

研究助成

東京海上研究所

東京海上研究所
THE TOKIO MARINE
RESEARCH INSTITUTE

東京海上グループ

研究協力

東京海上日動火災保険



東京海上日動

共同研究の内容

- ・東京大学
産学連携による広く社会に役立つアプリケーションの開発
- ・東京海上グループ
地球温暖化に伴う自然災害リスクの変化の予測
その変化がもたらす影響予測
→モンテカルロ台風モデル開発

3. 東京海上研究所・東京海上日動の採用について

1. 採用について：東京海上研究所では従業員の採用は行っていない。

東京海上日動が従業員を採用。本人の希望・適性を踏まえて、各部門（東京海上研究所を含む）への配属を決定。

（以下、東京海上日動の採用について）

2. 募集コース : a. 全国型従業員採用 ①Grow-upコース ②Specコース
b. 地域型従業員採用 ①Grow-upコース ②Specコース

3. 全国型従業員 Specコース : 一部の職種について高度な専門性を有する方を採用。

「アクチュアリー・金融工学」

◆2011年3月に4年制大学卒業見込みの方、大学院修士課程または博士課程修了見込みの方で、保険数理業務の基礎となる能力または金融工学の専門性を有する方（国籍不問）

「資産運用」

◆2011年3月に4年制大学卒業見込みの方、または大学院修士課程修了見込みの方（国籍不問）

「IT戦略」

◆2011年3月に4年制大学卒業見込みの方、または大学院修士課程修了見込みの方（国籍不問）

⇒2011年度Specコースの応募受付は終了。



Specコース

アクチュアリー・金融工学

資産運用

IT戦略

1. 応募資格

◆2011年3月に4年制大学卒業見込みの方、大学院修士課程または博士課程修了見込みの方で、保険数理業務の基礎となる能力または金融工学の専門性を有する方（国籍不問）

◆2011年3月に4年制大学卒業見込みの方、または大学院修士課程修了見込みの方（国籍不問）

◆2011年3月に4年制大学卒業見込みの方、または大学院修士課程修了見込みの方（国籍不問）

- ◆当社社員に2親等以内の親族がいること
- ◆各グループ会社役員（執行役員含む）に1親等以内の親族がいること
- ◆各グループ会社に配偶者がいること

2. 配属部門

入社1年目の配属は、学生時代の専攻を活かせる以下の部門となります。その後は、役割チャレンジ制度やJOBリクエスト制度などを通じ、本人の希望・適性に応じたジョブローテーションを行います。

- ・商品開発部門
- ・リスク管理部門
- ・資産運用部門
- ・収益管理部門

入社1年目の配属は、資産運用部門もしくはリスク管理部門となります。その後は、役割チャレンジ制度やJOBリクエスト制度などを通じ、本人の希望・適性に応じたジョブローテーションを行います。

入社1年目の配属は、IT部門となります。その後は、役割チャレンジ制度やJOBリクエスト制度などを通じ、本人の希望・適性に応じたジョブローテーションを行います。

3. 応募書類

[エントリーシート](#)[エントリーシート](#)[エントリーシート](#)

4. 大気科学の若手研究者の方へ

1. 大気科学の分野で世界をリード
2. 気象災害、保険・リスクマネジメント分野への研究領域、関心領域の拡大
3. 産学連携による広く社会に役立つアプリケーションの開発



ご清聴ありがとうございました。